

所属

氏名



キャッシュレス 日本でも加速

現金を使わず、クレジットカードや電子マネーで支払いをする「キャッシュレス化」の流れが、今年も日本で加速するとみられる。消費者にとっても支払いがスムーズになるなどのメリットがあるが、家計管理が難しくなるデメリットもある。キャッシュレス化の功罪を考えてみた。

(及川昭夫)

店先の看板には「キャッシュレス」や「現金」の文字。昨年11月、東京都中央区の間屋街で、外食大手のロイヤルホールディングスがオープンさせたレストラン「ギザザリング テーブル パントリー」だ。

店内で利用できるのはクレジットカードや交通系ICカードなどの電子マネーだけ。同社常務の野々村彰人さんは「これまで特にラブルはありません。割り勘での支払いにも対応でき、夕方になると仕事帰りの会社員でにぎわう。」

和歌山県の高野山真言宗・総本山金剛峯寺では昨年春、米スクエア社のクレジットカード決済システムを導入し、お守りなどが購入できるようにした。寺では珍しい試みだ。寺の会計課長の大谷重雄さんは「現金での支払いもできますが、小銭を持っていない外国の観光客にカード払いは

好評です」と話す。

◇ 世界ではキャッシュレス化が進んでいる。経済産業省の資料などによると、韓国や中国ではキャッシュレスでモノやサービスの対価を支払う決済比率が50%以上。米国でも4割を超え、スウェーデンでは中央銀行が世界初の電子通貨発行を検討するまで進んでいる。

しかし日本でのキャッシュレスの決済比率は2割ほど。野村総合研究所上級コンサルタントの田中大輔さんは「治安が良く偽札も少ないなど、安全に現金を使える社会であるため、キャッシュレス化が進まないの

だろう。冠婚葬祭などで現金を渡す文化があることも一因ではないか」と分析する。それでも2001年にサービスが始まったSuica(スイカ)など交通系電子マネーの登場やインターネットの普及で、日本でもキャッシュレスの流れは徐々に進んできた。スマートフォンを読み取り機にかざして買物ができる「おサイフケータイ」機能も、人気機種に対応で普及した。

「財布をかばんから出す必要がなく、最近では現金を使わない日が多い」と話す。キャッシュレス化では、企業側にも利益がある。ロイヤルホールディングスによると、店で現金を扱わなくなったことで、釣り銭の準備や売上金の入金といった作業がなくなり、店長を

シユレス化が進まないのだろう。冠婚葬祭などで現金を渡す文化があることも一因ではないか」と分析する。それでも2001年にサービスが始まったSuica(スイカ)など交通系電子マネーの登場やインターネットの普及で、日本でもキャッシュレスの流れは徐々に進んできた。スマートフォンを読み取り機にかざして買物ができる「おサイフケータイ」機能も、人気機種に対応で普及した。

◆モノやサービスの対価をクレジットカードや電子マネーで支払う「キャッシュレス化」が、今年さらには加速しそうです。くらし面「生活調べ隊」も動きに注目。その功罪を考えました。

【1】日本はキャッシュレス化が世界に比べて進んでいません。理由として考えられるものは何ですか。

【2】キャッシュレス化のメリット、デメリットを記事の中からあげてください。

【3】あなたはキャッシュレス化の功と罪のどちらが大きいかと考えますか。200字程度で自由に意見を述べてください。

支払いスムーズ／お金使う感覚薄く

中心に従業員の省力化が図れるという。

政府は今後、キャッシュレス化を進める方針で、27年までに決済比率を4割程度と倍増させる目標を打ち出している。

◇ その一方、「キャッシュレス化で、家計管理が難しくなる」とファイナンシャルプランナーで消費生活アドバイザーの山崎俊輔さんは警告する。

紙幣や硬貨を手渡さないことで、お金を使ったという感覚が希薄になり、無駄遣いが実感しにくくなる。クレジットカードでの支払い後は、後日に口座から引き落とされることも、家計の管理をややくしくさせるといふ。分割払いも利息がつくため、結果的に割高の買物をするようになる。そこで山崎さんは「自分

なりの利用ルールを決めて」とアドバイスする。電子マネーに現金をチャージする際は、「週に1度だけ」「少額だけにしておく」などと決める。一定の額を切ると銀行口座などから自動的に補充される「オートチャージ」といった便利な機能もあるが、「自分でチャージすることで、お金を使ったという感覚はできるだけ残しておくことが大切」と話す。

キャッシュレスでの買い物には、購入額に応じたポイント還元サービスもあるなど、家計のメリットになる一面もある。山崎さんは「便利さやメリットをうまく利用しつつ、うまく自分をコントロールして」話を話していた。

2018年1月9日 読売新聞朝刊より